

令和2年度 第2回江田島市公共交通協議会（令和2年8月12日）

協議会議事要点録				
会議名	令和2年度 第2回江田島市公共交通協議会			
日時	令和2年8月12日（水）13時30分～14時54分			
場所	江田島市役所4階会議室			
傍聴者	4名			
出席者	県立広島大学	名誉教授【議長】	の  はら  けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	お  かやま  まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	お  おはま  ひろあき 大濱 博明	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	は  たふじ  ひでき 畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会長	に  っ た  いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	た に ぐち  み の る 谷口 実	×
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	い ま み や  こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	こ  せ き  たかひろ 小跡 孝廣	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふ る も と  さねき 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	ど う の さ き  たいら 堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会長	お  かだ  れいこ 岡田 鈴子	○
	江田島市観光協会	会長	い と う  ふ み お 伊藤 富美雄	○
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	い ま お か  としゆき 今岡 俊之	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	よ  ねだ  まさひろ 米田 正裕	代理出席 遠北 俊貴
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	や まだ  かずたか 山田 和孝	代理出席 川口 祐貴
	江田島警察署	地域交通課長	ふ  くだ  つよし 福田 剛	○
	江田島市	副市長【会長】	ど て  さんせい 土手 三生	○
	江田島市	企画部長	お  くだ  しゅうぞう 奥田 修三	○
江田島市	土木建築部長	ひ ろ なか  のぶたか 廣中 伸孝	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	土手会長あいさつ			

3 議長の選任について	
各 委 員	野原委員を令和2年度の議長に選任
4 議 題	
(1) 報告事項	
ア 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請に係る書面審議の結果について (資料1)	
議 長	まずは報告事項について、事務局から報告をお願いします。
事 務 局	－資料1により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がございました。御質問、御意見はございませんでしょうか。
各 委 員	(質問・意見等なし)
議 長	それでは、事務局から説明のあった資料1の報告につきましては、ご了承を得たということで、取りまとめさせていただきます。
イ 新型コロナウイルス感染症対策公共交通支援補助金について (資料2)	
議 長	続いて資料2につきまして、事務局から報告をお願いします。
事 務 局	－資料2により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がございました。御質問、御意見はございませんでしょうか。 新型コロナウイルス感染症という非常時の対策であり、これで十分というわけにはいきませんが、交通事業者の助けになればと設けたものとなっています。
委 員	広島県旅客船協会は、非常に大きな影響を受けており、旅客人数は、県の平均で3月は対前年比で約50%の減少、4～5月は約20%～10%の減少、6月は約5割まで盛り返し、7月は約6割まで盛り返しました。 8月に入り、第2波ということで、帰省や県境を跨いだ移動等が制限されており、また悪化している状況にあります。 そんな中、江田島市、広島県、運輸局の皆様には、本当に配慮をいただき、一早く対策を講じ、全国でも話題になるぐらい航路の重要性を認識していただいております。こういった制度を設けていただけたことに対して、非常に感謝しております。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
議 長	ありがとうございました。ただ今、委員の方からお礼を言葉いただきました。他には何か御質問、御意見はございませんでしょうか。
各 委 員	(質問・意見等なし)
議 長	それでは、事務局から説明のあった資料2の報告につきましては、ご了承を得たということで、取りまとめさせていただきます。
ウ 中町宇品航路のダイヤ改正について (資料3)	
議 長	続いて資料3につきまして、事務局から報告をお願いします。

事務局	－資料3により説明－
議長	ただいま事務局から説明がございました。御質問、御意見はございませんでしょうか。
委員	次の5年間（R2.10.1～R7.9.30）についても、瀬戸内シーライン(株)と契約したということであります。資料に記載のある「平日23往復以上」を「平日20往復・日祝休日18往復以上」とあり、これは次期5年間のこのままいけば、約2億2千8百万円の赤字が見込まれるということであり、その点は理解できます。 また、資料に記載のある「他航路の割引率を参考とし、運賃を値上げする。」というのとは、次期5年間で他航路のいろいろな状況をみて、瀬戸内シーライン(株)も運賃を値上げする場合もあるということですか。
事務局	指定管理者の公募をした時の条件で、こういったことを示しており、基本的に運賃の値上げや値下げを行うことはありません。
委員	今までの5年間は、まず運賃の値上げはないということで、やってきたと思いますが、資料の中に「他航路の割引率を参考とし、運賃を値上げする。」という記載があるのであれば、他航路の状況をみて、あげてもいいですよということなんではないですか。
事務局	資料3の表に回数券と通勤定期券について、それぞれ現行と改正後の記載があると思います。改正後については、基本的にR2.10.1から値上げしますよということですので。次期5年間は、なにか余程のことがない限り、この料金で運航しますということで御理解いただければと思います。
委員	それは分かっています。 だから、次期5年間のうちで、資料に記載のあるように他航路の割引率を参考にして運賃を値上げする場合もあるということなのではないですか。
事務局	本航路の料金は条例で定められており、また、指定管理者の公募の際も、この料金設定で運航してくださいという条件で公募しています。よって、基本的に次期5年間は、現行料金の据え置きとなります。 ただ、災害や燃料の高騰等の特殊要因があった際には、値上げについて、考えなければならないと思っています。
委員	はい。分かりました。
委員	質問です。ダイヤについて、これまでは、平日と日祝休日の便数が違っていたが、10月からは同じ便数となるのですか。
事務局	これまでと同様に始発便と最終便については、日祝休日は運航しないこととなります。
委員	朝が早くなるのはいいのですが、最終便が15分程度早くなっているんですよ。私も広島で会議や飲み会などがあつたりして、最終便で帰ることがあります。15分も早くなってしまったら、随分早くなってしまったという印象を受けます。 この島に定住してもらおう若い方や広島に通っている方もおられるので、遅くするのは問題ないが、早くするのは如何なものかなと思います。利用者が少ない昼

	<p>間の便数が少なくなるのは理解できます。</p> <p>最終便は、私もよく乗りますが、かなりの人が乗っています。現行よりも15分も早くなってしまうと、多くの人困ると思う。航路を減すことばかりだけではなく、この島に住む人のことを考えれば、1,000円が2,500円になったとしても、タクシーで帰ることを考えると安いんですね。</p> <p>ですから、そういう便を1便ぐらいは金曜日や土曜日ぐらいには増やすということも必要なのではないかと。縮小縮小で経費がないと言っているのは、ますます乗る人が少なくなると思います。</p> <p>そういったことも少し考えていただければ、ありがたいかなと思います。</p>
事務局	<p>先に休日ダイヤについて、補足して回答します。資料3の裏面のとおりに、ダイヤの丸印がついている箇所は、平日は運航しないということになります。今でも始発便と最終便は、平日のみの運航となり、そこは変わらないという事で御理解いただければと思います。</p> <p>また、15分早くなるのはどうなのかという意見をいただきました。まず、仰るとおりであり、早まるということは、どうかなということ、我々も瀬戸内シーライン(株)さんと一緒になって、協議はしてきました。実際のところ、航路を維持するには、経費を少しでも削っていく必要があります、この15分であっても、今のままであれば、どうしても人件費がかかってくる事情があります。</p> <p>そうはいつでも、大きな影響がでない範囲で15分で調整し、瀬戸内シーライン(株)さんにも折れていただきました。</p> <p>最終便の料金を少し高くするという意見もいただきました。タクシーには深夜料金がありますが、航路についてもそういったことが可能なかどうか、我々としても、勉強していき、それをやった時に時間をずらすことができるのか、今後、研究していきたいと思っております。</p>
委員	<p>例えば、実験的に金曜・土曜だけやってみるとか、1便遅い便を出したら、どのくらい経費や人件費がかかるのか、そして何人くらい乗れば、採算がとれるのか、そういったことを少し検討していただければ、ありがたいかなと思います。</p> <p>今のままであれば、どんどん便数が減って、時間も短くなって、非常に住みにくい町になっていくのではないかと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。</p>
議長	<p>それでは、事務局の方でまた検討をお願いいたします。</p>
委員	<p>もろもろ補足させていただければと思います。5年前に市から民間に移行するという時に、まず最初の5年間は料金や定期券等の割引率やダイヤ等を全く変えずに、民間の企業努力に任せるという形で、スタートしました。</p> <p>その結果、出だしは順調であったが、やっぱり油の料金の意向によって、かなり不安定な状況になり、あるいは当初見込んだ利用者の減少率を大きく上回るなどしました。</p> <p>この先の5年間については、同じことでは大幅な赤字になるということで、こういう案が検討されている経緯だと思います。</p> <p>ただ、仰るとおり、一番大事なのは、持続可能性であり、途中で切れてしまう</p>

令和2年度 第2回江田島市公共交通協議会（令和2年8月12日）

	<p>ことなく、交通を守らなければいけない。そのためには、何が優先事項なのかという点をしっかり議論し、いろいろと試行錯誤しながら、やっていくしかないと思っています。そして、周りの航路との連携や使い勝手を考えながら、この5年間で消えてしまわないように、いろいろと工夫していきたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。</p>
オブザーバー	<p>オブザーバーですが、発言してよろしいですか。</p>
議長	<p>それでは、よろしくお願いいたします。</p>
オブザーバー	<p>ありがとうございます。2～3点質問させていただければと思います。</p> <p>もともとこの中町航路は、江田島市交通局が直運営し、かつては、能美町が運営してきた歴史がある。そして、5年前に公設民営という形をとって、これまでに至っています。この公設というのは、従来所有していた高速船3隻を無償貸与し、今後、もし船舶の更新が必要となった場合には、新しい船の建造は、江田島市が行い、運航管理は瀬戸内シーライン(株)が担うということで、理解しています。</p> <p>他の一般航路との比較において、公設民営で市が負担している部分に対するメリットは、何があるのか。その点について、市民に説明ができていないのではないかと思います。市民に理解できるように説明してもらいたい。</p> <p>また、今回の定期券の値上げについても、他航路と補助率を同じにすることはとんでもない考えであると思います。かつての市直営時の補助率を維持するぐらいの気持ちでやるべきではないか。これから先、赤字となる度に値上げしていたら、広島市などに通勤している若い人がこの島に住み続けることができなくなるのではないか。宇品に勤め先があるわけではなく、バスや電車などの乗り継いで、勤め先に通う人もいます。</p> <p>定期代だけで4～5万円を出せる企業は、私の認識ではほとんどない。せいぜい3万円程度の交通費を負担するのが、一般的な企業の通勤交通費補助の考え方であり、5～6万円も出せるような企業はあったとしても、雇うことに躊躇し、結果的に江田島市民を雇わないことにつながるかもしれない。</p> <p>それともう一つ、年寄りが病院に行くだけで今でも2,500円の足代がかかっている。それを11枚綴りを9,800円。こんな金額になると一枚当たりが1,000円を超えるわけですね。さらに電車やバスを乗り継いだら、もっと足代だけで費用がかさみ、病院に行くことができなくなる。</p> <p>そして、3つ目に、決まったら広報で知らせるとの説明があったが、この大きな問題は地域の市民にこのようにするが、皆さんの意見はどうですかと聞かなければならないではないか。どこの場で決めるかは知らないが、議会で決まればそれでおわりということなのか。それでは、ほとんど市民は意見を言わずに、決まったことを受け止めるしかなくなる。この点もどうかと私は思います。決まるまでの経緯を教えてほしい。この交通協議会です承されれば、それで最終決定ということになるのか。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。ただ今、オブザーバーの方から意見がでまし</p>

令和2年度 第2回江田島市公共交通協議会（令和2年8月12日）

	<p>た。全てに答える必要はないかと思いますが、事務局の方から答えることがございましたら、お答えください。</p>
事務局	<p>はい。まず、公設民営の一番のメリットは、市が船を持っていることであり、仰たとおりです。運航事業者にとっては船を持たなくいいし、更新の場合にも、費用負担しなくてもいい。そして、毎年かかる減価償却費も気にしなくてもいいということになります。公設民営の事業者には、そうったメリットがあると思います。</p> <p>それを他の航路と比べたとき、どうなのかといった点については、減価償却費がもしあった場合には、次期5年間で2億2千8百万円の赤字という試算がもっと膨らみます。よって、公設民営のおかげで、資料に記載のある料金で維持できており、それは市が船を持っているからということになります。</p> <p>あと、料金が安い方がいいというのは、当然ですし、思いとしては、分かります。しかし、そうすれば、経費はどこから捻出するのか、また、船を維持しようとすると、必要経費はかかってくる。その経費は必ず確保しなければならない。</p> <p>我々としても全てに料金転嫁するとは、書いていません。資料に書いてあるとおり、指定管理者さんの自主努力による自主事業でしっかりと稼いで、そして、利用者さんにもご負担をお願いし、市は船を維持していき、新しい船が必要であれば、市で購入するといった形で、それぞれがちょっとずつ我慢しながら、この航路をとにかく守る。これが一番であり、航路を守るという意味で、市民の皆様にも少しの負担をお願いするものであり、このような制度設計をしております。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
オブザーバー	<p>最後にもう一点だけお願いします。</p>
議長	<p>発言をやめてください。それはオブザーバーの意見となりますので、これ以上、発言をいただく訳にはいきません。正規委員が意見を述べるのが、本協議会であります。</p> <p>そしてこの場には、自治会の代表者がいますので、その方に御意見を述べてもらうことが、非常に貴重であると思います。自治会の代表である委員から差し加える意見があれば、お願いいたします。</p>
委員	<p>ただいま、オブザーバーの方から言われた意見は、私としても良く理解はできる。そして、また事務局の説明も、良く理解ができています。</p> <p>そういう意味で、ただ一つの意見をこの場で私の方から要望させていただくということは、現時点においては、控えさせていただきたいと思います。</p> <p>今後、市の自治会連合会の中で、こういった議案ができれば、その中で十分に詰めて、その場で要望等をさせていただければと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。それでは、次の路線バスのダイヤ改正について、話を進ませていただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>（質問・意見等なし）</p>
<p>エ 路線バスのダイヤ改正について（資料4）</p>	

令和2年度 第2回江田島市公共交通協議会（令和2年8月12日）

議長	それでは資料4について、事務局から報告をよろしくお願いします。
事務局	－資料4により説明－
議長	はい。ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何か御質問あるいは御意見がありましたら、承りたいと思います。いかがでございましょうか。 この意見について、大濱委員から何か付け加えることがありますでしょうか。
委員	現状、船がついてから3～4分間後に棧橋からバスが発車しているが、利用者は、お年寄りが多くなってきたので、その分だけ余裕をもって、航路とバスの接続を25分以内にはしています。
議長	ただいま大濱委員からお話がございました。これに関しまして、皆様から御質問あるいは御意見がございませんでしょうか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	なければ、次の協議事項に進めさせていただきます。
（2）協議事項 おれんじ号（朝夕便を含む。）のダイヤ改正について（資料5）	
議長	それでは資料5について、事務局から御説明をよろしくお願いします。
事務局	－資料5により説明－
議長	ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何か御質問あるいは御意見がありましたら、承りたいと思います。いかがでしょうか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは、「おれんじ号（朝夕便を含む。）のダイヤ改正について」は、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
5 その他	
議長	その他でございます。本日、机上配布した資料があるかと思います。事務局の方から説明をお願いいたします。
事務局	－資料「帆走訓練について」及び「執銃徒歩訓練の経路変更に伴う幹部候補生の江田島市内の歩行について」により報告－
事務局	もう一つ、伝達事項があります。航路事業者の皆様にお願ひがあります。 「航路のスタンプラリー」について、航路事業者の皆様と打合せがしたいので、可能であれば、この会場でお待ちいただければと思います。 よろしくお願ひいたします。
議長	ただいま、事務局からの伝達事項等がありました。これについて、御質問あるいは御意見がありませんでしょうか。
委員	幹部候補生学校の歩行訓練について、日時が10月16日となっております。市内を幹部候補生が歩行するのだと思います。市民の方へは、できるだけ詳しく広報や前日、前々日に防災行政無線で周知していただければと思います。それによって、資料の写真にもあるように市民が出迎えることで、隊員の方も元気づくのではないかと思いますので、検討をお願いいたします。

令和2年度 第2回江田島市公共交通協議会（令和2年8月12日）

議 長	市民の方に対する周知をお願いしたいということですが、事務局から何かありますか。
事 務 局	<p>広報誌では、記事を掲載する予定となっています。また、防災無線を利用した周知も行おうと思います。</p> <p>ただ悩ましいのが、市民の方に出迎えをしていただきたいが、コロナの状況もあるので、皆様の判断で見えていただけたらと思います。</p>
議 長	ありがとうございます。他に何か御意見はございませんでしょうか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
6 閉 会	
議 長	それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきます。今日は長時間、ありがとうございました。